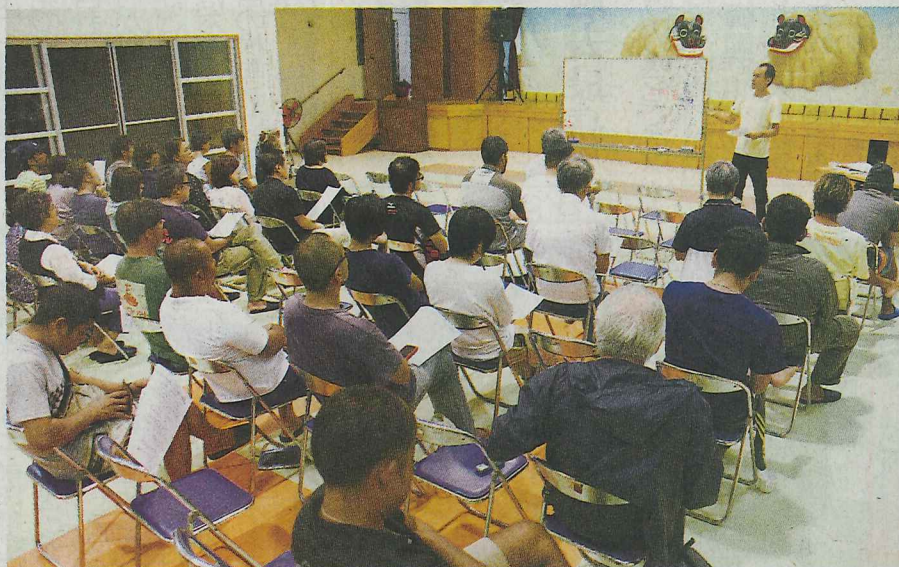


# 八重山毎日新聞

Yaeyama Mainichi

2017(平成29)年  
 11月16日(木曜日)

発行所  
 株式会社 八重山毎日新聞  
 〒907-0004 沖縄県石垣市宇登野城614



白保集落北側での高級リゾートホテルに対する住民集会で、問題点について説明を受ける住民ら＝15日夜、白保公民館

## 公民館、24日の臨時総会で賛否

白保集落北側の東海岸沿いで計画されている高級リゾートホテル建設に対し、白保公民館から課題を検証するよう依頼を受けている地元環境保全団体で組織する白保リゾートホテル問題連絡協議会(新里昌史会長)は15日夜、住民を対象に「リゾートホテル問題を考える緊急住民集会」を白保公民館で開いた。連絡協会は建設計画の問題点を指摘した後、下水道未整備地域を理由に反対の意思を表明、署名活動を同日から開始した。12月に請願として県に提出する予定だ。集会には住民約50人が訪れた。連絡協によると、24日には白保公民館の臨時総会が開かれ、建設計画の賛否を決定するという。

## 白保リゾート

# 連絡協が建設反対表明

## 下水道未整備指摘 署名活動を開始

連絡協は、(株)石垣島白保ホテル&リゾート(職名安信代表取締役)による7月の住民説明会で、地元住民から指摘のあった自然環境保全対策や汚水処理計画、事業者と関係機関との事前協議の確認事項についてまとめた問題点を説明した。連絡協によると、同社の開発許可申請は6日に県へ通達され、現在審査中という。このため、「住民の同意のない開発は認めない、白保の生活や自然環境に悪影響を及ぼす可能性のある開発は認めない」として建設反対の意思を示し、島内外を問わずに署名運動を開始するとの方針を示した。「石垣島白保リゾートホテル問題を考える」ホーム

ページでもインターネット署名も行う。

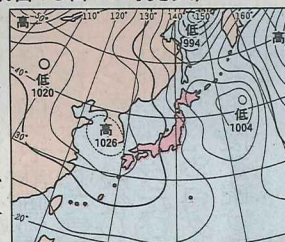
また、ホテル建設に関わる(株)建ハウジング(那覇市)、UDS(東京都)、小田急電鉄(株)に対し、▽市自然

環境保全条例の事前協議で事業者側の虚偽申請▽下水道未整備地域の開発で汚水によるアオサンゴ群落など周辺海域への影響▽海抜以下の建設地で汚水排水の地下浸透による周辺環境の影響などがあるとして13日付で公開質問状を送付した。新里会長は「島のリゾート施設が全ていらぬとは思わない。白保は豊かな資源あつての経済発展なので現状の白保の立ち位置を考へてほしい。賛同する多くの皆さんの署名をお願いしたい」と訴えた。

### きょうあすの天気

(石垣島地方気象台15日17時発表)

【概況】八重山地方は、気圧の谷の影響により曇りや雨で、明け方まで雷を伴う所がある見込み。沿岸の海域は波がやや高く、石垣島地方は、夜から波が高くな



オオジャコの貝殻を引き上げた池田福清さん＝8日午後、石垣市登野城

## オオジャコの貝殻 ビックリ1メートル5センチ

### 池田さん親子が引き上げ

石垣市登野城で40年余り水からホースで酸素をとりにながら潜って漁をするフリーカー漁をしている池田福清さん(58)が8日、「これまで育つのに100

年はたっているのでは。歴史を感じる」と感慨深そうに話した。池田さんによると、このオオジャコは30年程前から同海域で砂などに埋もれ、貝殻の一部が確認できる程度だった。ことしに入り、台風などの影響で殻がむき出しになり、中身も入っていなくなったことから同日、干潮時に息子の福剛さん